



テーブルの読み取り

- [テーブルの読み取り \(1 ページ\)](#)

テーブルの読み取り

HyperFlex は現在、同じクラスタ内での異なるサーバタイプの混在をサポートしていません。各表には、特定のサーババージョンと互換性のあるドライブが表示されます。これらの表は、互換性のあるドライブの PIDS を説明し、クラスタの拡張に必要な最小 HXDP リリースを指定するように設計されています。

表 1: 互換性一覧表の例

ドライブ機能	現在の M4 PID (最小 HXDP バージョン)	M5 拡張 PID (最小 HXDP バージョン)
システム ドライブ (ハウスキーピング)	HX-SD120GBKS4-EB (2.5) HX-SD120GBKS4-EV (1.8) HX-SD240GBKS4-EB (2.5) HX-SD240GBKS4-EV (1.8)	HX-SD240G61X-EV (2.6) HX-SD240GM1X-EV (3.5)

互換性のあるドライブ：互換性のあるドライブとして、同じ行に記載され、黒で囲まれたドライブは、相互に互換性があります。Housekeeping の例では、HX-SD240G61X-EV と HX-SD240GM1X-EV はそれぞれに互換性があり、同じクラスタで同時に使用できます。ノードがこのタイプの複数のドライブを使用する場合(システムドライブの場合は異なります)、同じノードで混合 PID を使用できます。

各 HyperFlex ノードが機能するには、複数の異なるタイプのドライブが必要です。ドライブ機能は、表の最初の列に示されています。

互換性のないドライブ：異なる行に記載されているドライブは相互に互換性がありません。キャパシティドライブ (データ) の例：ドライブ HX-SD38TBE1NK9 を現在使用しているクラスタの新しいノードまたは追加キャパシティドライブとして、ドライブ HX-SD38TBHTNK9 またはドライブ HX-SD38T2HTNK9 を使用することはできません。互換性があるのは、同じ行に記載されているドライブ HX-SD38TBEM2NK9 だけです。

表 2: 互換性のないドライブの例

ドライブ機能	現在の M4 PID (最小 HXDP バージョン)	M5 拡張 PID (最小 HXDP バージョン)
容量ドライブ (データ)		HX-SD38TBE1NK9 (2.6) HX-SD38TBEM2NK9 (4.0(2c))
		HX-SD38TBHTNK9 (3.5(2a)) HX-SD38T2HTNK9 (4.0(2a))

最小 HXDP バージョン : HX-SD240GM1X-EV (3.5) は、この 240G Housekeeping ドライブのサポートが HXDP リリース バージョン 3.5 で追加されたことを意味します。このドライブを含むノードでクラスタを拡張するには、最初に最小リリース (この場合は 3.5(2e)) にアップグレードする必要があります。異なる構成に推奨される HXDP リリースは、『HX Data Platform (HXDP) ソフトウェア推奨リリース バージョン : Cisco HyperFlex HX シリーズシステム』に記載されています。

互換性カタログ : この新しい機能は、HyperFlex データ プラットフォームのアップグレードを行わず、HX ドライブ カタログだけのアップグレードを実行して、将来導入される新しいドライブとモデルを使用できるようにするもので、新しいドライブの導入を簡素化します。個別の UCS ドライブ カタログの更新も必要になる場合があることに注意してください。この ESXi 機能は、最小 HXDP バージョン + カタログで識別される PID でサポートされます。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。